

津市長が選ぶ 平成25年市政の10大ニュース



平成25年12月18日

1 まん中こども館と中央公民館の移転開設



まん中こども館(乳幼児ふれあいスペース)

7月1日にまん中こども館を、
9月1日に新たに調理実習室と
情報研修室を備えた中央公民館
を **津センターパレスに移転開設**



中央公民館(受付・情報研修室・調理実習室)

今後の取組

津センターパレスの再生や民間の建築プロジェクトを
契機とした **“平成時代”の中心市街地づくり**を展開

2 津ボートでSGチャレンジカップを開催



優勝戦のレースの様子

11月19日～24日、ボートレース津で、平成17年以來 **8年ぶり**となる**最高峰**クラスのレースを開催
大盛況で、本場での売上6億円を達成



最終日の
スタンドの様子

優勝表彰式



今後の取組

平成26年の開設62周年記念「GⅠつつじ賞王座決定戦」をゴールデンウィークに開催するなど、来場を促進

3

ポルタひさいの取得・久居都市開発(株)の解散



ポルタひさい

ポルタひさいを管理運営していた久居都市開発(株)の債務を市が補償することを回避するため、7月1日に同社が所有するポルタひさいの不動産を市が取得
10月30日に久居都市開発(株)が解散

今後の取組

平成27年1月にポルタひさいに久居総合支所・津南工事事務所・久居保健センターを移転開設

4 (仮称)香良洲高台防災公園の整備着工



(仮称)香良洲高台防災公園イメージ図

香良洲町に海拔10mの高台防災公園を整備するため、**高台づくりに必要な土の搬入を開始**

中勢バイパスなどの整備や波瀬川・穴倉川のしゅんせつに伴う土砂を活用

今後の取組

平成29年春の供用開始 に向け事業推進

5

吉田沙保里杯 津市少年少女レスリング選手権大会を創設



大会当日(合同練習会)の様子

世界選手権11連覇と五輪3連覇を達成した **吉田選手の偉業を記念する「第1回吉田沙保里杯津市少年少女レスリング選手権大会」を一志体育館で開催**

全国から416人の児童・生徒が参加

今後の取組

さらなる参加者の拡大等を図り、第2回大会を開催

6 総合支所の権限強化



地域の道路維持・補修

地域インフラ維持・補修事業を創設し、1億5,600万円の予算執行や各総合支所職員の2人から4人の増員など、総合支所の権限・財源・人員を強化



草刈り



側溝修繕



側溝清掃

今後の取組

総合支所が主導的な役割を果たす 予算執行の仕組みづくりとスピード感あふれる維持・補修事業の展開

7

津市学校給食協会臨時職員による不正経理発覚



津市学校給食事務改革推進検討会の様子

津市学校給食協会の臨時職員が、約9年にわたって不正経理を行い、約4,200万円を着服していたことが発覚

今後の取組

再発防止に向け、津市学校給食協会の在り方、給食費の適正な管理、給食事務の会計処理方法などを決定し、改革を実施

8

学校トイレ快適化計画に基づき洋式化改修工事がスタート



洋式化されたトイレ

家庭でのトイレの洋式化が進むなか、
計画に基づき、平成25年度から
栗真・一身田・片田・敬和小学校と
西橋内中学校のトイレ洋式化の改修
工事を実施



今後の取組

平成29年度までに、
小学校18校、中学校7校の改修工事を実施予定

9

がん検診などの受診期間を3月まで延長

がん検診などの受診期間を延長

		これまで	平成25年度から
個別検診	乳がん検診 子宮がん検診	7月～ <u>12月</u>	7月～ <u>翌年3月</u>
	その他のがん検診 肝炎ウイルス検診	7月～ <u>11月</u>	
集団検診		7月～ <u>翌年2月</u>	

内視鏡検査が集団検診の一部の会場でも受診可能に

	これまで	平成25年度から
胃がん検診(内視鏡検査)	個別検診のみ	個別検診+ 集団検診 (一部の会場)

今後の取組

受診率のさらなる向上に向け、啓発を実施

10 津市職員の給与を削減

国家公務員の給与削減に合わせた地方公務員の給与に係る地方交付税の減額に対し、市民サービスの低下を招かないよう、**特別職と一般職の給与を減額**

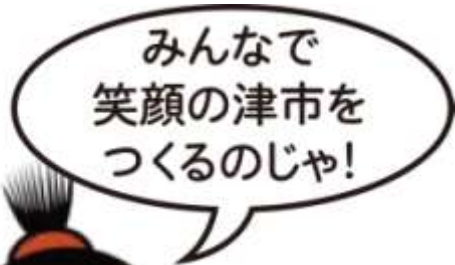
- ▶ 特別職の給与を10%～20%減額(減額率を上乗せ)
- ▶ 一般職の給与を平均2.79%減額

これまでの人件費削減に加え、今年10月から来年3月までに総額約2億2,000万円の給与を削減

今後の取組

減額措置は平成26年3月末で終了し、平成26年4月以降は行財政改革に基づいた減額を引き続き実施

ふるさと津かがやき寄附の 使途の選択項目を拡大 ～寄附者の思いに応える仕組みづくり～



平成25年12月18日

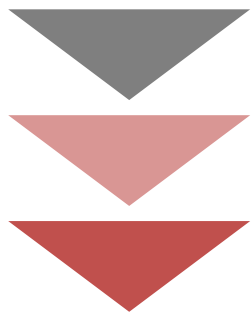
ふるさと津かがやき寄附について

平成20年4月30日公布の地方税法の改正により
「ふるさと納税制度」が誕生

- ▶ ふるさとへの思いを納税に代わって寄附という形で実現
- ▶ 個人住民税の大幅な控除が可能となる

平成20年7月～

ふるさと津かがやき寄附募集開始



3つの寄附の用途目的を設定

- ①子どもたちが未来に向かってかがやくまちづくり
 - ②津城跡の整備や多気北畠氏城館跡周辺などの歴史文化を未来に伝えるまちづくり
 - ③山・川・海の自然環境を生かし、未来につなげるまちづくり
- ※いずれでも良いとの選択も可能

平成24年4月～

寄附者への特産品贈呈開始
(平成26年1月1日から三重テラス商品引換券を追加)

平成24年7月～

オンラインによる申し込み受け付け開始

ふるさと津かがやき寄附の実績

年度	かがやき寄附者数				かがやき寄附の額			
	全体	県内		県外	全体	県内		県外
		市内				市内		
平成20年度	23人	11人	9人	12人	289万2千円	129万2千円	69万2千円	160万円
平成21年度	22人	14人	13人	8人	361万9千円	275万4千円	175万4千円	86万5千円
平成22年度	14人	7人	7人	7人	721万6千円	578万6千円	578万6千円	143万円
平成23年度	13人	6人	5人	7人	162万円	22万円	20万円	140万円
平成24年度	34人	19人	15人	15人	168万5千円	72万5千円	39万3千円	96万円
平成25年度	49人	16人	10人	33人	226万2千円	57万2千円	21万円	169万円

平成25年12月10日現在

平成24年度末までの累計で 1,700万円 を突破！

寄附者数が平成23年度比で、24年度は倍増！25年度は3倍増！

これまでの寄附の使途希望状況

(単位:件数)

希望する使途		平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
1	子どもたちが未来に向かって かがやくまちづくり	14	6	1	2	1	2
2	津城跡の整備や多気北畠氏 城館周辺などの歴史文化を 未来に伝えるまちづくり	2	1	0	0	0	1
3	山・川・海の自然環境を生かし、 未来につなげるまちづくり	9	3	0	0	1	0
4	いずれでも良い	24	24	12	12	20	20
合 計		49	34	13	14	22	23

これまでの寄附の使いみち

分野	主な使いみち	金額
子どもたちが 未来に向かって かがやくまちづくり	<ul style="list-style-type: none">・子どもまちづくりクリエイター養成事業 (H23)・子どもに優しいまちづくり推進事業 (H22,23,24) など	770万円
津城跡の整備や多気 北畠氏城館跡周辺など の歴史文化を未来に 伝えるまちづくり	<ul style="list-style-type: none">・津城跡整備活用調査研究事業 (H23)・多気北畠氏遺跡整備活用研究事業 (H23)・一身田寺内町まちづくり事業 (H21,22) など	608万円
山・川・海の自然環境を 生かし、未来に つなげるまちづくり	<ul style="list-style-type: none">・東海自然遊歩道^{おおほらやま}大洞山コース整備事業 (H22)・山と川と海のネットワーク事業 (H23,24) など	143万円

津かがやき寄附に対する関係団体からの要望

11月28日 「ふるさと津かがやき寄附における津城復元への寄附者の意向が反映できる受け皿づくり」の要請

要請4団体：『NHK大河ドラマ「藤堂高虎」を誘致する会』『津市議会お城を活かしたまちづくり推進議員連盟』『藤堂藩五日会』『ときめき高虎会』

現在の寄附申し込み時には、
特定の事業だけを指定した項目がなかった

寄附者の思いに応える仕組みづくりを検討

現行のふるさと津かがやき基金条例に
「津城跡の整備」、「多気北畠氏城館跡周辺の整備」が盛り込まれていることから、選択項目を3つから5つに拡大



寄附者の思いに応える仕組みづくり

平成26年1月1日から寄附使途の選択項目を拡大！

現在

子どもたちが未来に向かって
かがやくまちづくり

自然環境を生かし、
未来につなげるまちづくり

津城跡の整備、
多気北畠氏城館跡周辺などの
歴史文化を未来に伝えるまちづくり

※上記いずれでも良いの選択も可能

平成26年1月1日～

子どもたちが未来に向かって
かがやくまちづくり

自然環境を生かし、
未来につなげるまちづくり

歴史文化を未来に伝えるまちづくり

※上記はいずれでも良いの選択も可能

NEW 津城跡の整備

NEW 多気北畠氏城館跡
周辺のまちづくり

今後のふるさと津かがやき基金の管理と事業実施

寄附者による用途希望

子どもたちが未来に
向かってかがやくまちづくり

自然環境を生かし、
未来につなげるまちづくり

歴史文化を未来に
伝えるまちづくり

津城跡の整備

多気北畠氏城館跡周辺の
まちづくり

基金の管理

これまで同様に
基金を事業に充当

分別管理

分別管理